

愛ちゃん と 希望くん

やわたはま



社協だより

32

平成23年 7月 1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

平成22年6月5日(日) ボランティア協議会・社協主催で 第24回 福祉のつどい を開催しました!



「福祉のつどい」の開会式後と閉会式後に行われる元気なおもちまき。実はそのおもちも、ボランティアさんの手作りなんです。まさに「縁の下の力持ち」「黒子」ですが、おもちがないと「福祉のつどい」は始まりません。だから今回、巻頭カラーはおもちを作るボランティアさんにスポットを当てさせて頂きました。いつも、本当にありがとうございます。



福祉のつどいで配られた、きれいな紅白の美味しいおもちは、福祉のつどいの開催前から、私たちが準備しこしらえました。

日本赤十字奉仕団さん
ともしび婦人会さん
民生児童委員協議会さん
母子寡婦福祉連合会さん
連合婦人会日土支部さん

第24回 「福祉のつどい」メッセージ作品発表

2001年 ボランティア国際年+10記念 テーマは「絆」

第52回 国際連合総会において、日本の提案に基づき、123カ国の賛同（共同提案国）を得て、2001年を「ボランティア国際年（IYV）」(International Year of Volunteers) とすることが満場一致で採択されました。それから10年がたち、国連は「ボランティア国際年+10（プラステン）」と名付け、ボランティア活動や市民活動の推進を世界中に呼びかけています。第24回の「福祉のつどい」では、「ボランティア国際年+10」を記念し、「絆」をテーマに親子の絆、友達との絆、仲間との絆、東日本大震災で被災された方々へのメッセージを募集いたしました。918のぬくもりある、優しいメッセージが届きました。多数の応募ありがとうございました。

小さいころ、
おばあちゃんの背中
もらったぬくもり、
今、言葉で返すよ。
「いつまでも元気でね」
って

八幡浜工業高校2年生
金子竜也さん

クラスの友だちとの
絆を大切に
今は小さいわでも、
そのわを広げて、
しあわせなせかいに
したいです。

松蔭小学校3年生
三瀬ゆずほさん



受賞者のみなさま、おめでとうございます。緊張されていますね。

愛してる…
よりもほしいものは、
最期に言う
「一緒にあってよかった」
のあなたの言葉。
だから私は
今日も笑うよ。

中岡嘉寿穂さん

いつも一緒に
いるだけが、
友達じゃないよね。
困ったとき
支えあえる。
遠くにいても
絆でつながっているよ。

八代中学校2年生
泉春菜さん

みなさまの会費が地域の福祉を支えます

会費が地域福祉の財源です、ご協力をお願いします



7月 社協会員へのご加入をお願いします

社会福祉協議会（社協）は市民のみなさまが会員となって、地域の福祉を高めていく活動に参加していただくことを目的とした団体です。年々、福祉的支援を必要としている方は増加しています。要望と期待に応えるためには、多くの財源が必要です。

例えば、地区社協の「給食サービス」「いきいきサロン」「子育てサロン」等の実施には会費の配分金等が使われています。会員になったみなさまには「会費」の拠出をお願いし、会員相互の支え合いの活動に使わせていただいております。

地域の方の温かい思いやりとご協力による「会費」が各種の社会福祉事業を支えています。そして、私たちの祖父・祖母・父・母・子ども・孫が笑顔になる活動に、「会費」を通して、会員のみなさまが参画していただいております。社協が推進する地域福祉事業にご理解をいただき、一人でも多くの方が会員にご加入くださいますようお願い致します。

- 一般会費（年額） **500円**
（町内会・自治会等のご協力により納入していただいております。）
- 特別会費（個人・団体・年額） **1,000円**

宮城県女川町での 支援活動報告

八幡浜市社会福祉協議会

河野 哲也



3月11日の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

全国の社会福祉協議会で、各被災地の支援を行っています。愛媛県社会福祉協議会では、宮城県女川町を支援することとなり、現在も継続しています。震災からちょうど1か月がたった4月11日から18日の8日間(ただし、現地での活動は6日間)宮城県女川町で活動してきました。

仙台市から石巻市、東松島市の被災地を通り、被害の大きさを目の当たりにし、女川町に入りました。中心部に向かって車を走らせると、家屋の倒壊が徐々に見え始めついに瓦礫の平野地となりました。言葉を失い、ただ茫然と眺めることしかできませんでした。

女川町は、人口約10,000人の漁業・観光産業の町であり、原発がある町でした。町の中心部は壊滅的状况で、海拔16mの高台にあった社会福祉協議会も1階部分まで津波が押し寄せ、被災しました。6月8日現在死者466名、行方不明者690名、避難者数1,292名、避難所14か所となっています。

女川町社会福祉協議会では、3月17日に『女川町災害ボランティアセンター』を立ち上げました。しかし、社協事務所も浸水し社協職員も被災しており社協自体も機能していません。私たちは、社協の支援・災害ボランティアセンター

の運営支援を目的に、現地職員の方たちに寄り添い、思いを確認しながら支えていくことを心がけました。

町の約70%が被災している状況の中でも、女川町の住民の方たちは、自分たちで何とかしていくという気持ちを持っていてのを感じました。避難所や在宅避難所を支援物資の提供を行いながら訪問して、どのようなボランティアが必要なのか望まれているのかを汲み取り、そして駆けつけてくれる様々なボランティアの思いを繋ぎ、炊き出しや家の片づけなどの幅広いボランティアの活動を支援してきました。

まだまだ、震災前の地域を取り戻すには時間がかかるかと思いますが、一日も早く「社協」本来の機能を回復し、地域が持つ力を回復できるように支援の必要性を感じながら帰途につきました。

この遠く離れた愛媛からできることは、応援し元気づけることです。愛媛からたくさん応援メッセージが女川町に届けられています。応援メッセージを見た地元の高校生は、ボランティア活動に参加してくれています。私たちのメッセージはわずかながらでも元気になってもらえます。また、現地のボランティア活動に参加することのほかに、義援金などの募金活動があげられます。復興にはまだまだ時間も労力もかかります。息の長い支援活動を続けますよう皆様にもお願いします。

現地職員の一言

『まげねっちゃ おながわ!! がんばっぺ おながわ!!』

八幡浜市社会福祉協議会では、地域住民のみなさんや関係機関の方々とともに福祉のまちづくり計画を考えました。

あなたのまちのサポーター
「八幡浜市社協です」

第2次八幡浜市地域福祉活動計画

第2次てやてや活動計画

基本理念
「すこやかな心ふれあう思いやりのあるまちづくり」

この基本理念は、第1次てやてや活動計画（第1次八幡浜市地域福祉活動計画：平成16年度策定）の基本理念を受け継ぎ、八幡浜市で生活する市民のみなさんが住み慣れたまちで安心とあたたかさを感じることができるように、一人ひとりが手を取り合い、支えあっていくことができる人間関係を地域社会で築き、みんなの手で、みんなの声で進めていく「ふれあいのまちづくり」を目指したものです。

● 計画の期間

この計画は平成23年度から平成27年度までの5か年計画です。

● 策定の経過

「第2次八幡浜市地域福祉活動計画策定委員会」において計画内容を審議しました。
具体的には『小委員会』を置いて、その中で必要な情報を収集・整理し計画案を作成していきました。



理事会・評議員会

計画案の答申 ↑ ↓ 計画の決定

策定委員会

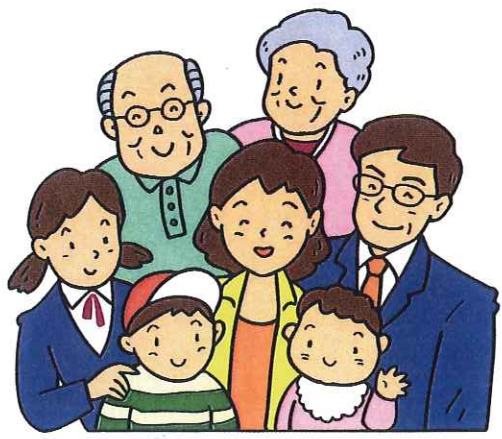
計画案の作成 ↑ ↓ 計画の決定

小委員会

第1次計画事業の評価

福祉のまちづくアンケート

しあわせで、安心して暮らせる
「福祉のまちづくり」アンケート



社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会

基本理念

「すこやかな心ふれあう
思いやりのあるまちづくり」

この基本理念を実現するために
5つの基本目標を定めました

基本目標1 ボランティアでまちを元気にしよう

ボランティアを知ろう 活動に参加してみよう

- ・ボランティアの情報の発信
- ・ボランティアの拠点づくり
- ・福祉学習の充実
- ・ボランティア研修会の開催
- ・ニーズ調査
- ・ボランティア活動への参加促進
- ・地域の支え合い活動の推進
- ・現ボランティア活動の拡充
- ・ボランティアの発掘・育成
- ・ボランティア研修会の開催

活動を支えよう

- ・ボランティア活動の支援
- ・コーディネート機能の強化
- ・ボランティア協議会の支援
- ・ボランティア団体の育成・支援

基本目標2 権利を大切に安心した生活を送ろう

意識の向上を図ろう

- ・人生の送り方を考える
- ・病気や障がいの理解
- ・成年後見制度などを通して権利擁護について学ぼう
- ・働くよるこびを分かち合う

つながりを強めよう

- ・住民主体の活動を支える
- ・つながりのしくみづくり
- ・ネットワークの強化

権利・財産を守ろう

- ・消費被害の予防と対策
- ・相談事業の充実
- ・権利擁護センターをつくる
- ・貸付制度の活用・見直し

基本目標3 安心を支えあう文化をつくろう

寄付活動のしくみを 知ろう

- ・情報の発信
- ・学習会や研修会の開催

安心のしくみづくりを 考えよう

- ・善意の循環サイクルを考える
- ・助成プログラム策定の検討

やさしい気持ちを 集めよう

- ・共同募金運動の推進
- ・まごころ銀行の運営

基本目標4 気軽につどえる場所をつくろう

地域で仲間づくりをしよう

- ・座談会等の開催
- ・地域の実態調査
- ・情報の発信

集まる場所をつくろう

- ・新しい場所づくり
- ・運営を考える
- ・住民と施設との関係づくり

楽しい場所にしていこう

- ・ふれあいいきいきサロンの充実
- ・子育てサロンの充実
- ・世代間交流の推進
- ・身近に相談できる場所づくり
- ・ボランティアセンターとの連携

基本目標5 みんなで活動をすすめよう

活動計画を推進しよう

- ・活動の推進体制づくり
- ・活動計画の評価
- ・活動計画推進の支援

地域とともに活動を 推進しよう

- ・地区社協の活動支援
- ・関係機関団体との連携

社協組織運営体制の 充実を図ろう

- ・組織の基盤強化
- ・職員の資質向上

ボランティア活動は自分・人・地域のために

手話奉仕員養成講座入門課程【八幡浜コース】

日程：平成23年8月2日(火)～11月15日(火) 全15回
午後7時30分～午後9時
会場：八幡浜市松柏乙1101番地
八幡浜市保健福祉総合センター2階 シルバーボランティアルーム
定員：20名程度
受講料：無料。ただし、テキスト代は自己負担です。
講師：岡野由季枝さん、藤高清美さん、伊藤佳子さん



手話奉仕員養成講座入門課程【保内コース】

日程：平成23年8月4日(木)～11月24日(木) 全15回
午後7時30分～午後9時
会場：八幡浜市保内町宮内1番耕地124番地1
保内保健福祉センター3階機能訓練室
定員：20名程度
受講料：無料。ただし、テキスト代は自己負担です。
講師：岡野由季枝さん、藤高清美さん、伊藤佳子さん

点訳ボランティア養成講座初級課程

日程：平成23年8月5日(金)～11月18日(金) 全15回
午後7時～午後9時
会場：八幡浜市松柏乙1101番地
八幡浜市保健福祉総合センター2階 シルバーボランティアルーム
定員：20名程度
受講料：無料。
講師：日野文恵さん



精神保健ボランティア養成講座

日程：平成23年8月18日(木)～平成24年1月19日(木)
午後1時30分～午後3時30分
会場：八幡浜市松柏乙1101番地
八幡浜市保健福祉総合センター2階 シルバーボランティアルーム
定員：20名程度
受講料：無料。
講師：福祉・医療関係者、ボランティア

朗読(音声記)ボランティア養成講座初級課程

日程：平成23年8月2日(火)～10月18日(火) 全10回
午前10時～午後12時
会場：八幡浜市松柏乙1101番地
八幡浜市保健福祉総合センター2階 シルバーボランティアルーム
定員：20名程度
受講料：無料。
講師：岩田和子さん



お問い合わせ
お申込み先

八幡浜市社会福祉協議会保内支所 ☎0894-36-0262 / 0894-36-1173
〒796-0202 八幡浜市保内町宮内1番耕地124番地1 保内保健福祉センター1階